ハムスターの迎え方

基礎編　　≪ハムスターを迎えてからの１週間≫

飼い主と楽しくコミュニケーションをとることができる、ペットとして飼育できる、最も小さい哺乳動物、それがハムスターです。

目次

ステップ１●事前準備
ステップ２●ハムスターを迎える
ステップ３●【地上の生活環境】で落ち着かせる
ステップ４●【地上の生活環境】を認識させる
ステップ５●『地下型の巣箱』のトイレの方式を決める。
ステップ６●『地下型の巣箱』を開放する
ステップ７●『地下型の巣箱』の使用状況を観察します。
ステップ８●自分の家を認識させます。
ステップ９●いよいよコミュニケーションの開始です。
- ● 厳禁事項
- ● 注意事項
- ● リセット

ステップ１

●事前準備

①飼育セット一式を準備します。ホームページ飼育セットを参考にしてください。

②このときは**巣穴を塞いでおきます。**

『地下型の巣箱』を与えるタイミングはもうしばらく後になります。

③寝床にする巣材を、片隅に置きます。

巣材はティッシュや新聞紙や布などを細く裂いた物などです。

ステップ２

●ハムスターを迎える

①ハムスターが入ってきた入れ物ごと【地上の生活環境】に置きます。

②入れ物が無いときは、隠れ家を仮設します。牛乳パックとかティッシュペーパーの箱に出入口の２cmφほどの穴を開けて、平らなところに固定して置きます。
③中でお腹がすかないように、食べ物を二日分ぐらい入れておきます。
④入れ物から【地上の生活環境】に、出ようと思ったときに自由に出て行けるようにしておきます。

【ポイント】
　ハムスターが家に来たら、まず、ハムスターのペースでハムスター自身が、新しい環境に落ち着くための期間を与えてあげましょう。この期間はステップ８までの約１週間です。
　このときのハムスターは、環境が変わって不安と恐怖で極度の緊張状態にあり、ストレス度は最高レベルに達しています。
【緊張状態のときのスキンシップは逆効果です】
　極度の不安状態のとき、他の動物（人）に優しく撫でられても、（不安⇒恐怖⇒撫でられる⇒撫でた人）を記憶してしまうだけです。
　ステップ８までは、スキンシップなど、人の方から接触することはせず、ハムスターの心理を正しく理解してあげましょう。

ステップ３
●【地上の生活環境】で落ち着かせる
　来たばかりのハムスターは、恐怖と警戒心のために入れ物の中に引きこもっています。
　恐怖心と警戒心が少しずつ収まって自分から出てみようと思うまで、入れ物から出なくても済むようにしてあげます。ハムスターがハムスターのペースで自主的に行動できるようにしてあげることが、良い飼育環境の絶対条件です。
　お腹がすいた。オシッコをしたい。ねむい。という本能的な部分を満たすことができるか?と、ここは何処？危険は?安全だろうか？などの生きるための確認が始まります。

ステップ４
●【地上の生活環境】を認識させる。
①ハムスターは少しずつ周りの環境を確認して、活動域を広げていきます。
②食べ物を得ることができて、水を飲むことができて、隠れて寝ることができて、オシッコをするトイレ（野外トイレ）がある【地上の生活環境】を認識し受け入れたことを確認してください。

ステップ５
●『地下型の巣箱』のトイレの方式を決める。
トイレ方式とは、トイレ材の固まる砂・砂・紙砂・オシッコシートなどを言います。

①ハムスターが野外トイレの方式を十分に受け入れたことを確認します。
②『地下型の巣箱』の小部屋の２つをトイレ室候補にして、野外トイレと同じ方式のトイレをセットします（砂を入れるなどです）。砂を入れるために入り口を高くしている小部屋がトイレ室にお薦めです。
④このトイレ室候補の２部屋にオシッコのにおいの付いたものを入れておきます。（自分のにおいで安心させるためです）

ステップ６

●『地下型の巣箱』を開放する。

①塞いでおいた巣穴を開放します。

　ハムスターは、すぐに巣穴を見つけて『地下型の巣箱』の中に入り、検査を始めます。安全であることを納得すると、『地下型の巣箱』を自分の家にする行動に移ります。

ステップ７

●『地下型の巣箱』の使用状況を観察し確認する。

①『透明な観察板』越しに『地下型の巣箱』におけるハムスターの巣穴の三大習性の行動を観察します。
[三大習性の行動]
　１．寝室を決めてそこに寝床を作り安眠します。
　２．トイレ室を決めてトイレ室だけでオシッコをして、他の部屋を清潔に保ちます。
　３．貯蔵室を決めて食べ物を貯蔵します。
②[三大習性の行動]を確認します。

ステップ８

●自分の家を認識させます。

『地下型の巣箱』が誰の侵入も無い、自分の１００％聖域であり、安心して熟睡し、リラックスできる自分の家であることを学習させ、認識させます。
これで、ハムスターのお迎えは、成功です。

【ステップ１からステップ８までの間は約１週間です】
　この期間ハムスターは、自分の生活環境を整えることに専念していた時期で、飼い主とコミュニケーションをとるような心の余裕はありませんでした。
　但し、飼い主が敵でなく、決して危険では無いことを、一週間の間に十分に学んでいるはずです。

ステップ９

●いよいよコミュニケーションの開始です。

ハムスターが自分の家を正しく認識し、リラックスし、心に余裕ができたら、いよいよコミュニケーションをとる準備が整いました。

ハムスターが、好奇心がとても強く、学習能力も高く、賢い動物であることをまず知っておきましょう。

①水を取り替えたり、食べ物を補給したりするとき、ハムスターが『地下型の巣箱』の中に居ても、優しく声を掛けるなどして、声の主が危険で無いことを学ばせます。

②食べ物の袋をカサカサさせるなどハムスターが気になるような音を立てて、さりげなく好奇心を刺激します。

すると、ハムスターは、その音や声が気になって気になって、確かめたくなって、いつか巣穴の近くまで出てくるようになります。

③危険でないことを納得すると巣穴から顔を出し、

やがて、出てきます。

これが【対等なコミュニケーションの始まり】になります。

なぜなら、ハムスターには、嫌なら出てこなくても良いという選択肢があるからです。聖域が保証されているのに、自分の意思で出てきたということが、ハムスター自身もコミュニケーションを望んでいる証です。

この対等のコミュニケーションの関係が出来上がると、たくさんの楽しいことが始まります。

手に載ってくれたり、頭まで登るなど身体中を歩いて確かめたり、信頼関係が確立すると、『地下型の巣箱』に侵入しても平気になる場合もあります。

このステップでハムスターとの対等の良いコミュニケーション関係を成功させる秘訣は、飼い主が飼い主のペースでハムスターに近づくのでなく、ハムスターの方から飼い主に興味を持つように仕向けることです。

ステップ１～８の間、スキンシップを避けて、いかにさりげなくハムスターに接したかに掛かります。

【間違えやすい迎え方】

可愛いハムスターが来ると、どうしても手に載せるなど可愛がってしまいます。しかし、迎えた飼い主の気持ちと、このときのハムスターの気持ちは、天と地ほどの違いがあることを察してあげましょう。

無力のハムスターは成されるままで、食べられてしまうかもしれない恐怖さえ抱いているかもしれません。このようなときに接した飼い主を、もしかした

ら、悪いイメージで記憶し学習してしまうかもしれません。
　ステップ８までは、人は距離を置いて優しく見守り、観察するだけにして、ハムスターが安心して、環境を受け入れることに専念できるようにしてあげましょう。
　この≪ハムスターの迎え方≫は、人に馴れさせる前に、環境に慣れさせることの重要性を知っていただき、しかも、ハムスターとの良好なコミュニケーション関係を築ける方法をご紹介するものです。

●厳禁事項

『地下型の巣箱』の中にハムスターが居るときにやってはいけないこと。
１．『透明な観察板』を開けること。
２．『地下型の巣箱』の中に物を入れたり移動したりすること。
３．『地下型の巣箱』を動かすこと。
　『地下型の巣箱』はハムスターにとって、大地の巣穴と同じ聖域です。揺れ動いたり、侵入者が入ったり、入った形跡があれば、聖域で無くなり、自分の家の意識も無くなり、時には『地下型の巣箱』を嫌いになってしまう場合もあります。侵入者に警戒心を持つことを学習してしまいます。自分の部屋にむやみに入ってきて欲しくないのは人も同じですよネ。
　飼育者の都合やペースでなく、ハムスターの気持ちとペースで考えれば解かる事です。

●注意事項

『地下型の巣箱』で[三大習性の行動]を上手にできないのは、この行動に専念できないことによります。それには、次のような原因が考えられます。
１．別のハムスターが近くに居る。
　縄張り主張の習性が働いてしまいます。相手の強さによって、追い出したいのか、逃げたしたいのか、大きなストレスになる場合があります。これは、『地下型の巣箱』の中にマーキングをすることで判断できます。
２．近くにペットが居る、猫は特に警戒します。
但し、『地下型の巣箱』を完全に聖域化してあげることで、これらのストレスを軽減してあげることができます。【地上の生活環境】には気になる事があるけど、家の中にいるときにはリラックスできる。と言うことをハムスターは学んでくれます。

●リセット

『地下型の巣箱』を聖域化することに失敗した場合、あるいは、途中から『地下型の巣箱』を使用している場合など、リセットすることができます。リセットは少なくともステップ４まで戻ってください。何処まで戻るかは、何処で失敗しているかによります。

　リセット中は、ハムスターと距離を置いて、ハムスターのペースを守ってあげるのは言うまでもありません。

お詫び：『地下型の巣箱』の取扱説明書では、このステップ 1～9 までを詳しく述べていませんでした。取扱説明書と併せて参考にしていただければ幸いです。なお、この≪ハムスターの迎え方≫を、取扱説明書の前段として編集するよう、準備いたします。

2008.11.16.『地下型の巣箱』